

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	グループホームの特性や今後より専門性が求められる認知症介護の知識や理解を深めると共に、現在勤務しているスタッフの中には経験の浅い方もみえるため重度化している方への対応や緊急時(夜間及び急変時)の対応に不安を持っている。	現在勤務しているスタッフが緊急時においても落ち着いて対応できる環境・体制作りを行う。 マニュアルの整備を行うと共に、専門的な知識や緊急時の知識を深めることが出来るよう体制や環境の整備を行う。	研修計画の中に、緊急時(急変時)の対応についての研修(AEDの使用方法、迅速な連絡、情報共有、受診方法の確認等)を盛り込み、実施する。 専門知識を深めるため認知症介護の研修や情報共有を行う	6ヶ月
2	33	現在看取り体制は行っていないため、終末期や緊急時等は入院対応を行っているが、コロナ禍で入院もできないような状況や救急搬送が困難な場面が見受けられた	住み慣れた地域や施設で暮らし続けるための仕組み作りが求められています。本人や家族の意向に添えるよう、整備を行う	1・医療連携の強化 2・職員の医療知識や看取り等の理解 3・家族の意向調査	12ヶ月
3	3	入居者には日々の生活の中で意向や要望を聞いたり、言動等から確認し把握するようにしている。家族からは面会時や電話等で要望や意見を聞いているが、コロナ禍で面会を控えている家族は面会回数自体が少なく、要望や意見を聞く機会が減っている。	家族からの要望や意見を吸い上げる方法を検討、実施する。又、コロナが落ち着いて、環境が整ったら、運営推進会議に参加可能な家族に参加していただくよう働きかける。	郵便物送付の際、近況報告と意見・要望等の確認を書面で送り、返信用封筒を付けて実施する。定期的に面会に来られる方については、面会時に直接、意見・要望等の確認を行う。家族代表の方に固執せず、運営推進会議を行う偶数月第3月曜日の夕方に参加可能な家族に声を掛け、可能な範囲で参加していただき、意見・要望等の確認を行う。	12ヶ月
4	55	安全な環境整備を行う上で、築13年が経過し設備や建物に関しても、修繕や買い替えなどが必要となっています。経年劣化での事故や生活上不便な場所など、点検や計画的な改修が必要	5か年計画を立て計画的に、修繕や買い替えを行う事により、安心して安全な生活が送れるようサポートを行う	・5か年計画の作成 ・業者による設備点検 法定点検を含む ・助成金の活用	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。